

令和 5 年度
学校関係者評価報告書

令和 6 年 3 月
学校法人すみれ学園
四国医療技術専門学校

1.学校関係者評価委員

学校評価委員

泉 秀明	委員長	(土橋協立病院)
久枝 正実	委員	(愛媛県立中央病院 臨床工学部 担当係長)
白方 三喜	委員	(松山聖陵高等学校 教頭)
谷崎 繭友美	委員	(株式会社ソラスト 本校卒業生)
永見 美方子	委員	(本校在校生保護者)

学校職員

河邊 徹朗	(校長)
永井 千尋	(臨床工学学科 専門課長)
掛川 さゆり	(医療情報学科 学科長)
梶原 卓哉	(事務広報部 部長)
岡部 達紀	(事務広報部 課長)

2.学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、自己点検評価の事前送付による内容確認後、学校評価委員会の中で各担当者より詳細の説明を行い、評価結果について意見を頂きました。頂いた意見については、報告書に取りまとめホームページに公表し、今後の教育活動や学校運営の改善に活かします。

3.学校関係者評価委員会開催日時

令和6年3月15日(土) 14:00~15:15 会議室

- 1.開会
- 2.校長挨拶
- 3.自己評価説明
- 4.質疑応答
- 5.閉会

令和 5 年度 学校評価委員会 自己評価報告

学校評価委員

これまで○×で自己評価を行っていたものが点数を用いた評価に変わっているのはなぜか。

学校職員

職員それぞれが評価を行った結果を平均することで、これまでより自己評価を細かく出すことができるため変更を行った。

学校職員

法人として対応する内容と教員が対応する内容を分けて、該当箇所ごとに自己評価を出すようにしている。

学校評価委員

所属学校の次年度の入学生は、150 名ほど入学生が減少する予定で数年後専門学校への進学についても影響する可能性がある。入学生の安定した確保が今後より一層必要となる。

学校評価委員

在校生と現場で活躍する卒業生の関係が作れる体制は整えているか。

卒業生とのつながりを考えていく必要があるのではないか。

学校職員

オープンキャンパス開催時など、卒業生を学校に招くことで医療現場の情報を得るようにしている。

学校評価委員

卒業生の声として、現場で働く中で、タイピングや秘書としての対応など、しっかり学校で学んでいてよかったと感じている。

10 年前の卒業生も今の卒業生も学校生活の思い出を聞いた際に、年齢が若いのでイベントなど楽しかったことを上げるのかと思っていたが、学校の中で成績の良かった生徒に教えてもらうことができたり、先生が親身になって相談に乗ってくれたことなど、勉強してきたことが本人たちの思い出になっていることが印象的であった。

本校には落ち着いている生徒が多いと聞いている。

学校職員

今回の会の中で、卒業生の様子を聞けることはとても参考になる。

今後、職業実践課程を考えていく中で、より一層医療現場からの意見が貴重となってくる。

身に付けてほしい能力など、学生に対して求めることがあれば話を聞きたい。

学校評価委員

卒業生から医療現場で働くことの厳しさについては、常勤の先生より非常勤として来ていただいている外部の先生からの話が参考になっていると聞いている。

学校評価委員

資格の取得や就職などしっかりしているが学校を知らない人の方が多いように思う。もっと学校を知ってもらえた方が良いのではないか。

学校職員

今年度、WEB 広告やラジオ CM、地方の情報誌など、メディアへの露出を増やして対応を行った。また、次年度愛媛県専修学校各種学校連合会に加入し、連合会が主催する高校内説明会において学校の周知を行っていく。

学校職員

これまで学生から預かっている授業料は教育に関する費用として考えてきたので、広告などに費用をかけることは難しい部分がある。

学校評価委員

一人暮らしの学生など、家に帰っているか安否の確認できる体制はあるか。

学校職員

授業に出ていない生徒には連絡を行い、状況確認をするようにしている。

学校職員

医療情報学科と同じく、授業来ていない生徒に対して本人保護者に連絡を行うようにしている。放課後の学生の帰宅の有無についての把握は行っていない。

学校職員

過去にはクラスに連絡網という手段があり、順番に連絡をしていく手段があったが今の時代個人情報の取り扱いもあり、そういった手段が取れないのが現状としてある。学科内でビジネス用の LINE ツールがあるのでそういった連絡手段を使用して連絡が取れる態勢を整えている。

学校評価委員

文化祭などの学校行事は実施していないのか。

学校職員

過去に、食品を提供する際の保健所への手続きなど確認し実施に向けて動いたことはあるが、最終的な実施にはいたっていない。

学校職員

これまで実施していないが、今後実施を検討。